



9月も終盤です。あと1週間で後期（またはQ3）。心身ともに準備はいかがでしょうか。だからというわけではないですが、今月号は河合晃一先生のアカデミックな香りのするエッセイ、山崎友也先生の合同ゼミのレポート、成績疑義申立て手続の一部変更のお知らせという、なんとなく学問に寄った内容となっています。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 33 回 河合晃一先生（政策過程論）

先月、『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』というドキュメンタリー映画を観に行きました。映画の内容は、ニューヨーク公共図書館（NYPL）という実在する図書館の様子を3時間25分（『ロード・オブ・ザ・リング』より長い！）に渡り、ナレーションも一切入らない形で映し続けるというものです。この説明だけでは、ひどく退屈な内容の映画という印象を持つかもしれません。しかし、映画の中で映し出される NYPL の様子は私たちが想像する図書館とあまりにも違ったため、鑑賞した私はその内容に大きな衝撃を受けました。

例えば、NYPL は本や資料の貸し出し以外に、行政や NPO 等の団体が行うような、就労支援の説明会、子どもたちの教育プログラムといった公共サービスの提供を日常的に行っています。さらには、自宅にネット環境がない人に対して接続機器の貸し出しサービスまでしており、デジタル時代に対応した活動をしています。NYPL は、ニューヨーク市や州からの出資を受けているものの、民間の寄付金を財政基盤の柱にしている法人で、「公立」図書館ではありません。日本の市立（or 県立）図書館のような自治体施設ではない、「公共」（public）図書館なのです。

社会において NPO やボランティアが重要な役割を果たしているように、公共サービスの担い手は、政治や行政といった「政府」に必ずしも限られるわけではありません。その意味で、NYPL は本体の「公共」のあり方を明確に示しているように思います。日本でも最近、地域における図書館の位置づけに改めて注目が集まっています。野々市市では、2017年に「学びの杜のいちカレード」という図書館と市民学習を融合させた生涯学習施設がオープンしました。関心のある方は、本好きな人に限らず、是非、「新しい形」の図書館に足を運んでみたり、NYPL の映画を鑑賞してみてください。政治や行政だけの世界ではない「公共」に出会えるかもしれません。

甲南大学・香川大学との合同ゼミを終えて

Current News
最近の出来事から

9月9日、甲南大学の憲法ゼミ（篠原永明先生ご担当）と香川大学の民法ゼミ（吉原知志先生ご担当）と私担当の本学憲法ゼミとで、合同ゼミを金沢市内で開催しました。前半は、金沢市役所にて、市の担当者から、市の空き

家・町屋の活用・処理の各政策について、詳しい説明をいただき、その後学生・教員による質疑を行いました。所有権を尊重しながらも、法令の範囲内において、できるだけ早く空き家・町屋の処理・活用を進めたい市の意欲・苦悩を実感することができました。

後半は、近くの四高記念文化交流館に会場を移し、金沢市庁舎前広場における自衛隊パレード反対集会を市が不許可にした事件を素材に議論しました。特に篠原先生の厳しくも温かい突っ込みのおかげで、大変充実したゼミとなりました。その後の懇親会も、羽目を外す寸前まで盛り上がり、楽しく予定を終えました。いつもと違う学生・教員から直接刺激を受けられる合同ゼミは、今後も続けていきたいところです。



趣のある四高記念文化交流館でのゼミ風景

憲法担当 山崎友也

成績疑義申立て手順の一部変更します



成績疑義申立てにつきまして、従来は教員への疑義問い合わせ期間中の在室予定表を各教員研究室のドアに掲示するとともに、教務係の窓口でも閲覧できるようにしておりましたが、これまでのところこの予定表が利用されることはほとんどなく、実際にはメールで教員に問い合わせが行われることが通常でした。

そこで今回からは**在室予定表の作成を廃止**することとしましたので、学生の皆さんにおかれましてはこの点ご注意ください。

なお、その他の手順については従来どおりで変更はありません。

- ①法学類 HP 等で採点基準を確認
- ②それでも疑義が解消されない場合には教員に直接問い合わせ
- ③それでも疑義が解消されない場合には、
疑義申立て書に必要事項を記入して教務係窓口へ提出。



教員人事のお知らせ

9月1日付で、河合晃一先生（政策過程論）が准教授に昇任されました。

※月報に掲載する「異動のお知らせ」についてご指摘をいただいております。外部の方にお知らせする場合、内部で目上の人のことであっても敬語を使わないという一般常識はもちろん弁えておりますが、月報の主な読者としては内部（学生・教職員）を想定しているため、このような表現としております。ご了承ください。

法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。
(<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>)
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。